

## 7.6 数と現代史その2

前回の「数と現代史」では凶数 666 を中心に描きました。今回は救いの数 153 を重点において書いてみたいと思います。復習で新約聖書の 153 の部分を書き出してみます。

「シモン・ペトロが舟に乗り込んで網を陸に引き上げると、百五十三匹もの大きな魚でいっぱいであった。それほど多くとれたのに、網は破れていなかった。」  
(新共同訳：ヨハネによる福音書 21 章 11 節)

十字架上で亡くなったイエスが復活して弟子のところに現れた時の話です。153 は三角数といい自然数を順に加えてできる数で 1 から 17 までの和です。また 153 は数の並びを変えずに  $153 = 1^3 + 5^3 + 3^3$  と表せる特別な三角数です。

### 7.6.7 ファティマの聖母

153 で真っ先に思い出すのは 1917 年 5 月 13 日にポルトガルのファティマに出現した聖母です。初めて出現した日が 5 月 13 日で、MMDD の 513 を並び替えると 153 になるからです。概要を書いておきます。

回	月 日	特記事項
	5月13日(日)	・ 3 人の牧童に初出現，毎月 13 日のお願い (1917 年)
	6月13日(水)	・ 聖母の胸の外にある茨に囲まれた心臓
	7月13日(金)	・ 第一，第二，第三の預言が与えられた
	8月13日(月)	・ 行政責任者が 3 人を監禁したため 3 人の牧童は現場に行けなかった
	8月19日(日)	・ 会えなかった 13 日のかわりに予告なく出現
	9月13日(木)	
	10月13日(土)	・ 七万人の大群衆が目撃した「太陽のダンスの奇跡」

奇跡の初日から最終日までの日数が 153 日後であることから聖母は 513 が 153 と等しいことを伝えています。

$$18(5月)+30(6月)+31(7月)+31(8月)+30(9月)+13(10月)=153$$

ここでは細かな内容には踏み込まずに表面上の数で話を進めていきます。一つ大切なことは七万人の大群衆が目撃した「太陽のダンスの奇跡」があった最終日の 10 月 13 日は、最初に出現した 5 月基準の MMDD で 666 になることです。

$$531 + 30(6月)+31(7月)+31(8月)+30(9月)+13(10月)=666$$

このことから聖母の出現は「救い」(153)と「艱難」(666)の両方を含んでいることとなります。5 月 13 日の 513 は 153 にもなるが 666 にもなるということです。  $666 = 513 + 153$  または  $513 = 666 - 153$ ，表裏一体ということですね。

### 7.6.8 秋田の聖母

日本ではあまり有名ではありませんが、海外ではそれなりに評価を受けている日本における聖母の出現をご存じですか？ ファティマの聖母が出現した 1917 年を 1 年目と数えると、57 年後の 1973 年 7 月 6 日に秋田にあるカトリックの「聖体奉仕会」のシスター笹川カツ子さん (1931 年 5 月 28 日生，当時 42 歳) に 3 回，聖母が出現しました。

回	月 日	特記事項
	7月 6日(金)	・ 秋田初出現 (1973 年)
	8月 3日(金)	
	10月13日(土)	・ 秋田最後

秋田の聖母の出現は初出現の日を 1 日目と数えたとき、ちょうど 100 日目の 10 月 13 日が最後の出現でした。またシスター笹川さんの所属している「聖体奉仕会」には、「すべての民の御母」と呼ばれる聖母の御絵をもとに 1963 年に若狭三郎さんによって製作された木像の聖母マリア像があり、聖母が出現した後、このマリア像が 101 回の涙を流したことで知られています。



#### 7.6.9 秋田の聖母像 101 回の涙の奇跡

聖母の最後の出現からちょうど 64 週後の同じ土曜日、涙の奇跡が始まりました。涙の奇跡は 7 年の間に 101 回とかなり多いのでとてもここで全てを考察することはできません。特記事項がある回のみ書き出してみました。

回	年 月 日	時刻	特記事項	通算回数
1	1975年 1月 4日(土)	9:30	・ 涙, 初日	11
3		18:45	・ おびただしく流れる涙	13
22	1978年12月25日(月)	2:15	・ TV東京によって涙を流す像が撮影された	32
26	1979年 3月25日(日)	9:20	・ 涙, 聖母像の台をひたす	36
90	1979年 7月27日(金)	17:25	・ おびただしく流れる涙	100
101	1981年 9月15日(火)	14:00	・ 涙, 最終日	111



101 回の涙の奇跡の中で 3 回目, 26 回目, 90 回目の 3 回、際だって多量の涙が流れました。この数にファティマと秋田の聖母出現の回数 10 を加えると、13, 36, 100 になります。このことからファティマと秋田の聖母を同じ聖母の継続した出現として考えなさいというメッセージを受け取りました。13 は最後の晩餐の人数で、36 はキリスト教では聖数、100 は完成、完全を表す 10 の平方です。聖母はこの 3 回は特別ということで、出現した月日の MMDD に特徴を残してくれました。

$$104 + 325 + 727 = 1156 = 34^2$$

13 と 36、100 の特徴もあわせて紹介しておきます。

$$\begin{aligned} 13 &= 3^2 + 3 + 1 \\ 36 &= 6^2 = (1 + 2 + 3)^2 = 1^3 + 2^3 + 3^3 \\ 100 &= 10^2 = (1 + 2 + 3 + 4)^2 = 1^3 + 2^3 + 3^3 + 4^3 \end{aligned}$$

ファティマと秋田を結びつけていい理由の一つに、当時まだ日本に伝えられていなかった「ファティマの祈り」を聖母がシスター笹川さんに教えたという事実もあります。153 から自分が真っ先に思いついた聖母の奇跡はファティマと秋田を加えて、出現が 10 回、涙が 101 回の合計 111 回あったということになります。

$$111 = 10^2 + 10 + 1$$

#### 7.6.10 聖母の出現に共通する 10 月 13 日

2 つの聖母出現を考えるとときまず真っ先に気がつくのが、出現年の平均が第 2 次世界大戦が終わった 1945 年になることです。

$$(1917 + 1973) \div 2 = 1945$$

ようするに 2 つの聖母出現は  $(1945 \pm 28)$  年で表せます。28 は 2 番目の完全数です。そして 2 つの聖母出現に共通する唯一の日があります。10 月 13 日 (土) です。この日は 5 月基準の MMDD が凶数 666 になると書きましたが、2 つある 1013 が 2026 年の艱難を示しているのではと感じました。キリスト教では人類が最後の艱難に出会ったとき、天からキリストが再臨し、人類を救うとあります。この再臨する最後の艱難の年が 2026 年なのではと感じました。

平成が令和になったとき、ちょうど平成 31 年が令和元年になり、元号が変わっても 30 を加えれば平成だと何年なのかすぐわかるように、西暦においても 2026 年にキリストが再臨したとして、西暦が SC(Second Coming) になったとしても、 $2025 = 45^2$  を加えれば西暦何年かわかるように神さまが設定したかもと考えることができます。なぜこのことが凶数 666 なのか、おめでたいことじゃないのか。そうではありません。これ以降キリストによって人類が支配されるからです。人類の自由な生活がなくなるからです。

終末論的な話になりましたが、ネガティブに考える必要はありません。若い人はご存じないかもしれませんが、1999 年のノストラダムスの恐怖の大王から派生した終末論がそうだったように、基本何も起こらないと考えていい。しかし心の片隅に少しだけ準備しておけばいいと思います。ここで言いたいのはもしキリストの再臨があるとすると 2026 年かもしれないということです。もう一度言います。もしあるとするとですよ。

#### 7.6.11 キリスト教とは？

キリスト教はイエス・キリストを主として認め、贖い、仕える宗教です。人類の最後の艱難時に人類を救うため再臨すると書きましたが、しかし艱難の前には救出すると書かれています。

「心を騒がせるな。神を信じなさい。そして、わたしをも信じなさい。わたしの父の家には住む所がたくさんある。もしなければ、あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろうか。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻って来て、あなたがたをわたしのもとに迎える。こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる。」

(新共同約：ヨハネによる福音書 14 章 1-3 節)

「逃げるのが冬や安息日にならないように、祈りなさい。」

(新共同約：マタイによる福音書 24 章 20 節)

上のマタイによる福音書の 24 章の文は、艱難前の携挙と呼ばれている義人の救出の時期について書かれた聖書の中で唯一の文です。もし主イエス・キリストへの祈りが少なければ携挙は冬の土日だと伝えています。ここで注意しておきたいことはこの文を読んでいるあなたがキリスト教徒である必要はありません。なぜなら……

「預言者ダニエルの言った憎むべき破壊者が、聖なる場所に立つのを見たら 読者は悟れ、そのとき、ユダヤにいる人々は山に逃げなさい。」

(新共同約：マタイによる福音書 24 章 15, 16 節)

ここで読者と呼びかけています。義人としての救出対象は聖書を読んでいる人に向けられています。もちろんキリスト教徒をも含んでいるのでしょう。別に現在の生活を変える必要はありません。もし未来が不安でもまだまだ起こらなければならないことがたくさん聖書に記述されています。

「エルサレムが軍隊に囲まれるのを見たら、その滅亡が近づいたことを悟りなさい。そのとき、ユダヤにいる人々は山に逃げなさい。都の中にいる人々は、そこから立ち退きなさい。田舎にいる人々は都に入ってはならない。」  
(新共同約：ルカによる福音書 21 章 20, 21 節)

「あなたがたはこれらの物に見とれているが、一つの石も崩されずに他の石の上に残ることのない日が来る。」  
(新共同約：ルカによる福音書 21 章 6 節)

上のルカによる福音書 21 章 6 節の文はエルサレムに起こる地震を予言した文だといわれています。一人一人の生き方の違いで神さまは人類を選抜するはずですが、もし自分がその資格がなくても資格を持っている人を探してその人と契約すればいいことです。"あなたに声がかかったら、自分も行きたいので知らせて欲しい。"と。義人の救出は人数制限がないことをヨハネによる福音書 14 章 1 節の"住む所"という表現で伝えています。

艱難前に「艱難から逃げろ！」と言うキリスト、艱難にあっている人類を救うキリスト。どちらもキリストです。キリスト教は艱難前の携挙または艱難後にキリストの再臨を望むか 2 者択一の宗教です。

#### 7.6.12 さいごに

この記事を書くために復習をかねて Wikipedia を調べていたところ、「秋田の聖母マリア」の頁に 2019 年 10 月 6 日 (日) にシスター笹川さんの元に聖母が出現したとあった。

ヨハネの黙示録の最後の文が 22 章 21 節で並べて書くと 2221, 2019 年に出現？ どちらも連続整数を降順に書いた数になって、22, 21, 20, 19, ... とカウントダウンになっている。Xday は近いということかな……。最後にひらがなで表すと句読点を含め 100 文字 (英文は完全数 28 単語) だった「ファティマの祈り」を載せておく。

##### ファティマの祈り

主イエス・キリスト、わたしたちの罪をおゆるしてください。  
わたしたちを滅びから救い、すべての人々、ことに御憐れみをもっとも必要としている人々を天国に導いてください。  
アーメン。

#### 7.6.13 超短編近未来小説 X 月 Y 日

X 月 Y 日 TV からヒステリックな声がする。

「こちらエルサレム在住特派員です。ただいまエルサレム上空にたくさんの UFO が出現しました。政府は軍隊に出動要請を出した模様です。もういちど繰り返します。これはフィクションではありません。ただいまエルサレムの上空に多くの UFO が出現しました。イスラエル政府は軍隊へ出動要請を出した模様です。」